

会員一言スピーチ

長期ビジョン計画委員長の話&一言スピーチです
2回分まとめとなっています



L 中村 政勝

ライオンズクラブとは

~第1回~



ライオンズクラブは今から50年前に、東京で発足した。スポンサーはフィリピンである。富山県は9番目である。不思議なことに、岡山のライオンズがスポンサーである。そして、それを受けて、高岡市に波及し、次いで、金沢市に行き、滑川、黒部となっていた。今となってはどういう事情で地域が飛んだり、設立年代が統一でないのか解らないが人の縁の深さと奇遇には驚かされる。

ライオンズの基本は奉仕銀行である。小さくとも纏まったら大きくなり社会に貢献できる。例えば、盲導犬であり、ライオンズの森であり、アイバンクである。しかしながら、年月を経るごとに、一部にお金を出せばよいということになっていった。

そこで、50周年を機に前々ガバナーの高田氏がライオンズの原点を見つめようと提唱され、我がいきいきライオンズクラブは出来上がったものである。これらを踏まえ、我々自分たちは何をすればよいのか、また何をすべきかを考え実践していかなければならないと思う。そういう意味でもこのいきいきライオンズは他のライオンズからも注目の的である。

~第2回~

今後我々はなにをなすべきか、長期ビジョンとはなにをさすのかを考える時、まず自覚と情報の伝達能力と自由闊達さの3つをベースにおくべきである。

自覚とは334D地区で初のキャビネット結成のクラブ

であることの誇りを持つこと。次いで我が“いきいき”は準地区(キャビネット)の直結である。すなわち、

複合地区→準地区(キャビネット)→“いきいき”である。他のクラブは、複合地区→準地区→チェアパーソン→ゾーンチェアパーソン→クラブの順で情報が伝わる。逆もまた然りである。これはめったにない組織形態であり正確性、機敏性に優れているこの組織の特性を生かすべきである。最後は過去や前例に囚われなく、皆が誰に遠慮も無く意見を言え合えるクラブにすることである。そのなかで他クラブと調和をとりながら、良い方向を見定め行動していけば良いのである。



奉仕活動としては、富山城と松川周辺の清掃、歴史との融合には各種イベントへの参画、市民連携としては他の組織との交流を行っていけばよい。其のなかで事業資金の確保が大切である。4,000円を運営費に1,000円を事業費にして足りないところはドネーションや他で賄うことである。

クラブ間の提携においては、必要に応じて緩やかに対応すればよい。ただし、ほんの少しの繋がり、蜘蛛の糸のようなつながりでも切らない。高志LCは1種の兄弟クラブであるので、お互いに切磋琢磨して発展すればよい。

その他すべきことは準会員制度の活用や事務局の設置等色々あるが、年代間を越えた3世代型クラブつくりと女性の登用が大切だと思う。

もう すっかり春ですね・・・

ある日の思い 不定期便



L 藤川奈緒美

もうすっかり春ですね。今年は長い冬の影響で、桜の開花も例年より遅いということでしたが、自宅の横の公園では桜も桃も、とても美しく咲き誇って、まさしく見ごろを迎えています。3月~4月にかけては歓送迎会や、お花見などで、会員の皆様も大変忙しい時期だと思います。それにもかかわらず、定期例会の出席率の高さには感心させられます。私自身、3月が1年のうちで最も忙しい月の一つなので、つい仕事を理由に例会を休みがちでした。(すいません)ライオンズクラブに入会させていただいて、もうすぐ1年、皆様にはたくさんの勉強をさせていただきました。引き受けたからには責任を持って最後までやり遂げる。忙しいを理由にしない。(忙しいのは皆同じ)口で言う

のは簡単だけど、解ってもいるんだけど、これがなかなかムズカシイ・・・。

今年、小学2年生になった娘と一緒に、6月にやっとライオンズ2年生になる私ですが、一生懸命、できる限りついていきますので、これからも御指導ください。



初めての例会(夜間例会)

正直に言うと、最初は、ライオンズクラブ?何?って感じの私でしたが、今は、なるほど誰かが言った「人生の勉強の場」の意味が解りかけてきました。学校の勉強の他に、ピアノや、お習字等をがんばってる娘を見て、私も仕事以外にも、きっと何か社会貢献ができる事があるのかも・・・と思う今日この頃です。



入会式 丸山前会長よりライオンズ必携を受け取る